

1. 題材名 B(4)ア)ア日常着の活用「衣服の構成」

2. 題材の目標 平面構成と立体構成の違いを理解し、生活を豊かにできる工夫を考え、生活に活かそうとしている。

3. 題材設定の理由

(1) 題材観

旧学習指導要領と現行の学習指導要領を比較すると、食生活の自立・住生活の自立・衣生活の自立が、衣食住生活とまとまって扱われ、衣生活にかかわる内容が少なくなった。一方で、衣生活における衣服に関する内容では、日本の伝統文化である和服について学習指導要領の解説に「日本の伝統的な衣服である和服に触れる。」とあり、和服について取り扱うように述べられている。そこで、「衣服の働きと構成」で和服について重点的に取り扱うこととし、生徒が等しく和服について理解し、興味を持つことができるような取り組みを考え、この授業を行う。

(2) 生徒観

生徒は、日常で着物に触れる機会があるのだろうか。多くの生徒は、七五三のときに着物を着たらしいと、写真でその事実を知っているが、生活場面で着物を着る機会は極めて少ない。まずは、着物に関する記憶について生徒に問いかけ、自分事としてとらえるきっかけから、着物に興味を持ち、夏祭りに浴衣を着るなど、着物を着る機会が増えればよいと考える。

(3) 指導観

生活上では、和服に触れるためには多くの準備が必要である。そこで、紙で着物を作る教材を活用し、作る過程で着物の構造を知り、着物と同様に作り上げることで無駄なく反物を使った先人の知恵を知ることができる。この教材を活用することで、技術面と費用面で比較的安易に教具準備ができる。白い紙で作るので着物の柄などのデザインまで考えることができ、多くの生徒が興味を持つと考える。

指導要領解説に取り上げられた内容であり、日本の伝統文化を大切に思い、資源を無駄なく使う心も紙の着物を作る授業で学ぶことができる。これは、SDGsにつなげて学習できる。

4. 指導計画（全5時間扱い）

第1次	衣服の働きとTPOを考えた選択を知る。	1時間
第2次	衣服のコーディネートと色	1時間
第3次	衣服の構成、平面構成「和服」立体構成「洋服」	1時間
第4次	和服の構成 「紙で着物を作ろう」	1時間・・・(本時1/5時間)
第5次	和服の着装 「帯の締め」	1時間

5. 本時の授業

(1) 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
紙で着物を作ろう	着物の構造と工夫した点を理解し、資源を無駄なく使う技術やそれらに係る技術を身に付ける。	着物の構成を紙で再現し、自分らしい着物（柄のデザインなど）を表現する力を身に付ける。	着物の構成から現代の課題である SDGs に関する課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(2) 本時のねらい

- ・日本の伝統的な衣服である「和服」の基本的な構造を理解する。
- ・和服に興味を持つ。

(3) 準備物

パワーポイント、プロジェクター、着物シート、色鉛筆・はさみ・テープ（生徒持参）、書画カメラ

(4) 本時の展開

	学習内容	生徒の学習活動 「予想される生徒の反応」	○教師の支援など (評価) ★ICT 活用
導入	①前回の授業の復習 ②授業の流れの説明と準備物確認	・持ち物確認（セロテープ、はさみ、のり、折紙及び色鉛筆など） ・着物シートに氏名を記入。	○着物シート配布 ○教材提示機を用意する。 (主体的) ★復習のスライド
展開	③着物シートを使って着物の構造や部位を確認する。 (洋服との比較で前身ごろ、うしろ身ごろ、おくみ、襟、袖を確認する。) ④着物の作り方を説明する。 ⑤着物シートを切り取り線に沿って、はさみで切る。 ⑥前身頃におくみをセロテープで貼り、斜めに折り込んでから襟を貼る。 ⑦着物シートに色紙を貼ったり、色鉛筆で柄を描いたりする。	・折り紙を貼る場合は、着物シートを切る前に、着物シートの裏全面に折紙を貼る。 ・パワーポイントの着物作りの動画を見て作るが、わからなくなったら再生して確認する。繰り返し再生し、後方の座席の生徒は、手元で動画をみられるようにteamsに投稿しておく。 ・襟やおくみは、印に合わせて取り付ける。 ・袖口や脇など、縫い合わせる場所をセロテープで止めて、より着物に近づけるように完成させる。各部位の張り付け方は実物を見て、本物の着物の縫い方と同様にする。	○着物シートの作成工程を動画で見て作る。(知識技能) ○着物の柄やセロテープの貼り方の工夫で本物の着物のように作る。(工夫) ★作り方説明動画(全体・部分繰り返し・質問に応じて繰り返し) ○振り返り(授業で大切だと思ったことを書く。興味がある内容を調べて考察する。)をノートに記入するとよい。(知識・理解、思考判断表現) ★他の生徒の完成品を画像で見せる

ま	⑧完成した生徒は、着物を提出。	・完成した作品を参考にする。未完成の場合は休み時間にやる。	○次の時間に提出でもよい。自分なりのアイデアで工夫を追加できる。（主体的）
と	⑨大切だと思ったことを発表。		
め	⑩次回の授業の予告と準備物を告げる。		

- (5) 評価
- ・紙の着物を作る過程で着物の構造を知り、日本の伝統的な衣服である「和服」の基本的な構造が理解できたか。
  - ・反物を無駄なく使った先人の知恵を知り、自分の衣生活を振り返ることができたか。
  - ・和服のデザインと着装に興味を持つことができたか。

○ 着物シート 紙で着物を作る教材の紹介。(東京学芸大学附属小金井中学校石津みどり考案)

# 着物シート～紙で着物を作ってみよう～

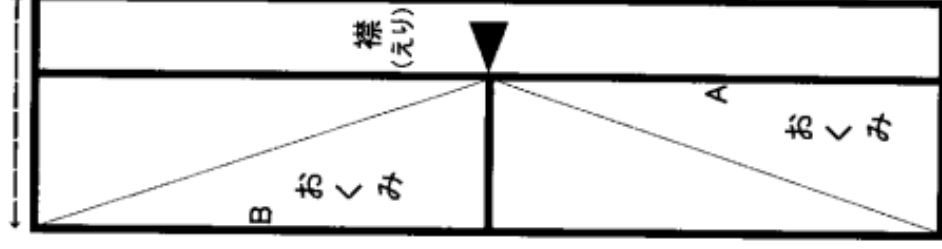
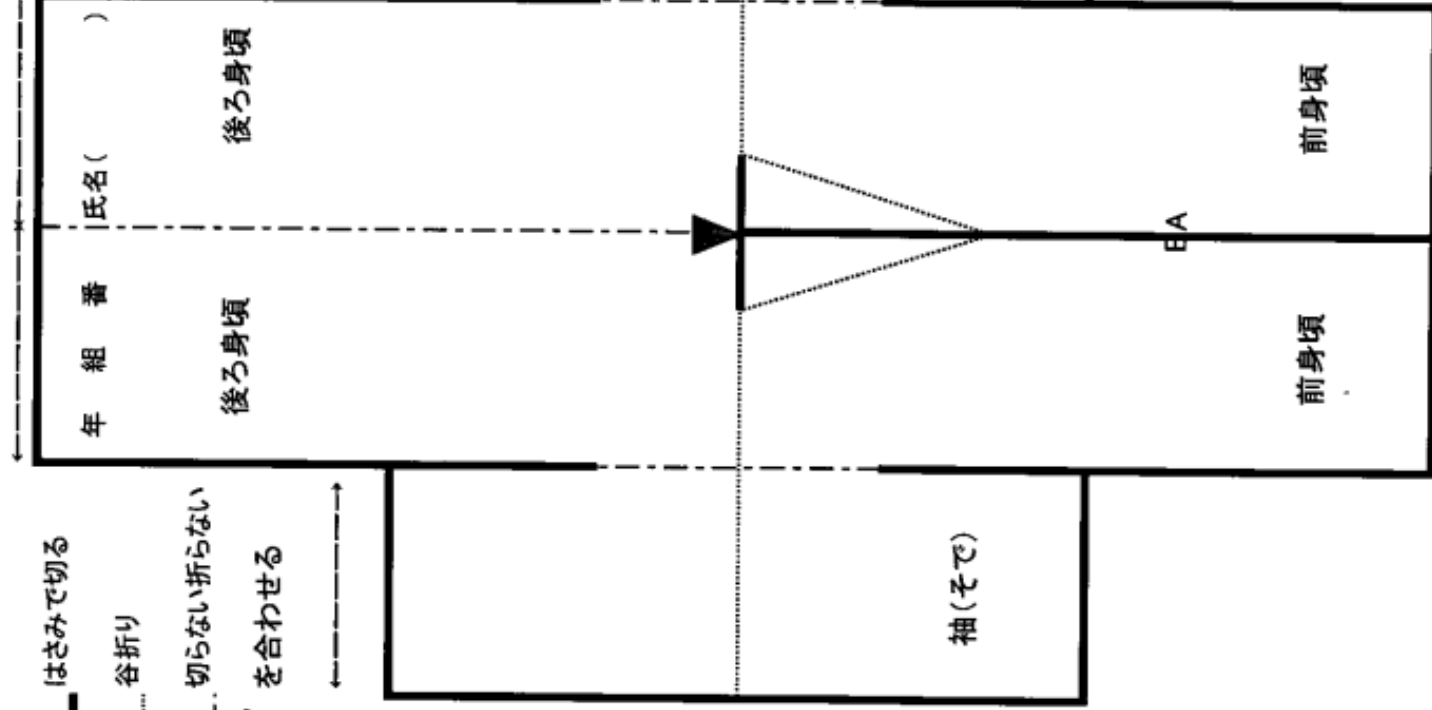
— はさみで切る

..... 谷折り

- - - 切らない折らない

▼ を合わせる

← 反物の幅



## ○授業と ICT 活用

### ① 教室の状況

- ・時々ほぼ全員が一斉に Wi-Fi に接続できるが、Wi-Fi 環境が不安定なので、数人しか接続できないことがある。
- ・教員の PC ですら確実に Wi-Fi に接続できるとは限らない。
- ・黒板にマグネット式ホワイトボードシートをはり付けて、スクリーンにしている。(購入前は模造紙で代用)
- ・机上や小物用ワゴンにのせてプロジェクターを2台常設している

### ② 教材と ICT 活用の工夫

	今回の授業で必要だと考えられる主な教材	左記の教材に対応した ICT 活用の工夫	備考 (ICT 活用の工夫で気付いたこと)
授業 1 衣服の構成で洋服と和服の違いを理解する授業	<p>A: 教員が板書として、要点をまとめたスライド (画像や説明) の投影をする。貫頭衣やポンチョ、近年の洋服の画像、着物や反物などのあまり目にする事のない授業で扱うものの画像などをパワーポイントにする。歴史的背景や現代の課題として SDGs に関連した動画を扱うことも考えられる。</p> <p>B: 教員が教科書の一部をスライドで投影できる (デジタル教科書指導者用)</p> <p>C: 欠席生徒へのオンライン授業配信</p> <p>D: 生徒がデジタル教科書の活用をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が Wi-Fi に接続できなくても、授業に支障がないように PC 本体に保存しているパワーポイントや動画を使う。自作の教材は手間がかかるので、リンク張って YouTube の動画を活用するのもよいが、Wi-Fi に接続できないことも考えられるので代替の手立てを準備するとよい。</li> <li>・自宅にいる生徒への授業配信は専用の端末を常時設置しておくとうい。</li> <li>・デジタル教科書生徒用の使用を希望する生徒がデジタル教科書を使っている。(現在はクラスで数名の使用。全員分の ID を発行してログインできるようにしてあるので、教科書を持ち帰らなくても家庭で活用することができる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTube の保存は利用規約違反。</li> <li>・教科書の一部を拡大して見せるのは、購入しているものに行っている。</li> <li>・デジタル教科書の画像を投影することもできるが、今回は使用しない。うまく使えば便利はずである。</li> <li>・資料の共有について、全員は無理だが、teams でパワーポイントが見られるようにする。(座席が後方で板書が見えにくい場合や自宅で授業を受けている場合に有意義)</li> </ul>
授業 2 着物シートを使って紙で着物を作る実習授業	<p>E: 教員が板書として、実習の要点をまとめたスライドの投影 (画像や説明) をする。</p> <p>F: 教師が実習の手順を示す動画 (必要なところが見られるように細分化したものとはじめから最後まで続けて見れるもの) を状況に応じて使い分けて投影する</p> <p>G: 教師が過去の作品の画像と展示の様子を静止画で見せ、生徒は参考とする。</p> <p>H: 生徒が iPad に保存されている「実習の手順を示す動画」を必要に応じて活用する (Wi-Fi に接続できなくても使える)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi に接続できなくても授業に差し障らないように PC 本体に保存しているパワーポイントや動画を使う。自作の教材なので、動画も自作。文字の説明やポップを最小限にして教材づくりの負担を減らしているが、伝えたい内容を漏らさず入れ込める。</li> <li>・授業配信は、パワーポイントなどの実習の要点をまとめたスライド (画像や説明) や実習の手順を示す動画を teams で投稿する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自作の教材は自作の動画が必要だが、基礎縫いのように共通の教材や指導法の場合は、よい動画が YouTube などに投稿されているのでリンクをはって活用したり、参考にして自分の教材用に自作の動画を作ったりするとよい。Wi-Fi 環境が安定しているならば、多様な教材の活用ができて便利である。</li> </ul>

\* 資料は以上です。PC に対する苦手意識がある教員の助けになればよいと思って取り組みました。参考にしていただけましたら幸いです。